活気と安らぎのあるまち

おく

町制施行30周年記念誌

■発刊にあたって

邑久町長　木下友次

戦後の混乱期がようやく収まろうとしていた昭和二十七年四月一日、私たちの邑久町が誕生してから、早くも今年で満三十年になります。顧みてまことに無量の感慨を覚えずにはいられません。

当初、純農漁村的性格の町としての発足でありましたが、多くの先輩たちや町民のたゆまぬ協力一致の努力により、当時から思えば当に隔世の感に堪えない程の変貌を遂げた現在の邑久町となりました。しかしながら、新町建設のためのこの三十年間は、必ずしも平坦な道ばかりではなく、幾多の困難や試練に遭遇し、これを克服してきたことは申すまでもありません。今、地方の時代といわれる一千九百八十年代を迎え、地方自治体の責務はいよいよ重大となりつつありますが、時あたかも国は行政改革を強く標榜して、その推進を図りつつあるとき、私たちの邑久町もその発展への今後の対応に、大いなる努力を要することとなるものと思います。本年、町制施行三十周年の記念すべき年にあたり、その記念事業の一つとして、邑久町誕生以来の先人の築いてこられた足跡を偲び、併せて今後の限りない町勢発展の資とするため、ここに記念誌「活気と安らぎのあるまち・おく」を刊行しました。

願わくは本誌を通じてすべての邑久町のかたがたが、私たちの町をよりよく知り、更に連帯感を深めて町の繁栄と町民福祉の向上に、役立てていただければ誠に幸いでございます。

町民憲章

わたくしたちは、瀬戸内の風光、吉井川の清流、千町の沃野など豊かな自然と、長い伝統に培われてきた邑久町の住民です。

このふるさとに誇りを持ち、町民互いに協力し、平和で豊かなまちづくりを進めるため、この憲章を定め、その実現に努力します。

一、**自然を愛し、環境をととのえ**
美しい町をつくりましょう。

一、**秩序を守り、協力して**
明るい町をつくりましょう。

一、**勤労を重んじ、生産を高め**
活気のある町を
つくりましょう。

一、**人権を尊び、生きがいと**
安らぎのある町を
つくりましょう。

一、**歴史と伝統をたいせつにし**
文化のかおり高い町を
つくりましょう。

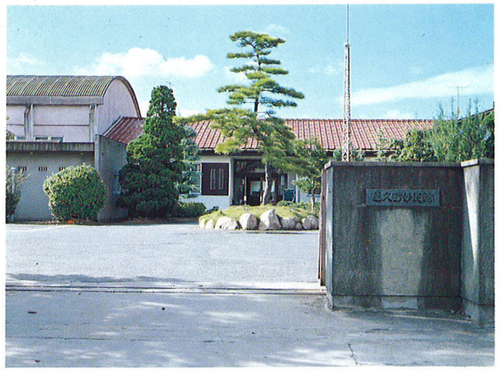
町木・ウバメガシ

調和のあるまちづくりを

私たちの町・邑久は豊かな緑に包まれ、ふれあいと温かみのある、明るく開放的な町。

豊かで調和のある町づくりは、私たち一人ひとりが協力し、心のふれ合い、語り合いをたいせつにする。そこから始まります。活気と安らぎのある・町づくりの原動力となるのは、私たちみんなが、「自分たちの町を、自分たちの手で築いて行こう」という〝心と力の輪〟です。

〝これが私たちの町・邑久です〟と自信をもって言える町をつくっていこうではありませんか。



町公民館

町役場裳掛支所

町役場庁舎

私たちの町・邑久町は、西に水量豊富な吉井川が流れ、中心部に県下でも有数の穀倉地帯・千町平野が広がり、東は標高二百メートル前後の山が連なり、南は小さな丘陵が東西に延び、瀬戸内海に接した海岸は変化に富み、良漁港がひらけています。

また、位置的には県庁所在地の岡山市に隣接し、国鉄赤穂線やマイカーを利用しての通勤・通学の便も良く、人口は昭和五十七年五月一日現在で、二万二十二人と、町村としては県下第二位を誇っています。

この豊かな自然と恵まれた地理的条件を生かした町づくりを進めるためには、千町平野を中心とした西部の都市近郊型平坦地帯と、瀬戸内海に面した東部の沿岸丘陵地帯の二つに分けて、東西のそれぞれの特色を生かした町づくりを行っていくことが必要です。

西部地域では、農業地域と住宅地域の整備を計画的に進め、農住調和のとれた快適な生活が営める町づくりを志向し、東部地域では、恵まれた自然を生かし、東瀬戸内海洋性レクリエーション都市構想を軸とした岡山ブルーハイウェイの沿線開発・錦海塩田跡地利用など、観光的な面と農漁業をうまくかみ合わせた町づくりを目指しています。

そして、次に掲げる三つの理想像をもって調和のとれた邑久町の町づくりを進めています。

福祉の行きとどいた町

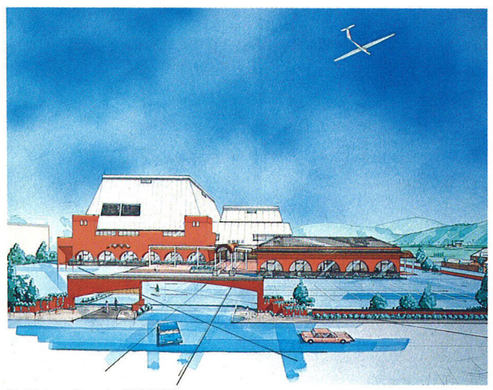
恵まれた美しい自然の中で、心身ともに健康に過ごせる豊かな生活環境をつくり、人間性の尊重される生きがいと安らぎのある〝福祉の行きとどいた町〟

発展を続ける町

地域の特性を生かした農漁業・商工業の基盤を整備し、生産性を高め均衡のとれた〝発展を続ける町〟

文化のかおり高い町

祖先から受け継いだすばらしい伝統・文化をたいせつにするとともに、新しい時代の要請にこたえうる、物と心の調和のとれた〝文化のかおり高い町〟



町民センター完成予想図

進む生活基盤の整備

坂根合同堰

福中ポンプ場

道路・橋梁

町の発展・産業の振興、住民の生活基盤を支える重要な役割を担っているのが道路です。町内の道路は、開発の基幹となる岡山ブルーハイウェイと県道十二路線、幹線町道、十七路線からなっており、計画的に改良整備が進められています。しかし、県道、幹線町道の一部においては未改良区間があり、激増する交通量に対応できるよう改良整備を急いでいますが、これに必要な公共用地の取得が最大の課題で、計画的に事業を促進するためには、関係地権者の協力が必要です。

橋梁については、道路事業と併行して永久橋に改良が進められています。また、国立療養所の設置されている長島と本土の間に、厚生省の直轄事業として新設架橋が計画されています。

河川

本町内に流れている河川は、一級河川＝吉井川外二川、二級河川＝千町川外二川、砂防河川＝円張川外二十八川および一町管理の普通河川があります。これらの河川は昭和五十二年の台風十七号により多大の被害を受けましたが、その後、計画的に整備が進められ、特に一級河川の千田川および二級河川の千町川下流の千町西川においては、河川激甚災害対策特別緊急事業により放水路の新設および排水ポンプ等の施設が設置されました。しかし、町内を流れる大小の河川の大半が、用水および排水を兼ねた河川のため、今後はこれらの抜本的改修により低水地帯、千町地域の排水事業の推進が最大の課題です。

港湾・漁港

邑久町には、虫明漁港、玉津港、知尾港、問口港、布浜港の五港があり、この一帯の海域は、東瀬戸内海洋性レクリエーション都市構想が計画されています。五港のうち、虫明港は年次的に改良、整備が進んでおり、かき養殖を中心とした浅海漁業基地として発展しています。また、玉津港については五十七年度を初年度とし、施設の整備促進を図って行く計画です。

吉井川下流 土地改良事業

吉井川下流に展開する水田約六千五百ha（内邑久町一千三百二十ha）と、その周辺の丘陵地からなる畑地約一千三百ha（内邑久町三百九十ha）を受益とする吉井川下流二市六町を対象地域として、昭和四十六年より国営および附帯県営等の土地改良事業が実施され、昭和五十六年度までに坂根合同堰の改築工事など、国営事業の約六〇％が完了をみています。

虫明漁港

虫明インター

地域の特性を生かした豊かなまちに

活気あふれる町、邑久は働く町。「おはよう」とあいさつする顔。額に汗する赤銅色の顔。大地を見つめる真剣な顔。町じゅうに、邑久をささえるたくましい顔があります。みんなの力で、地域の特性を生かし、より豊かでエネルギッシュな町に…。

温室ぶどうの出荷

ライスセンター

圃場整備事業(庄田地内)

農業

県南都市近郊地帯に位置している本町農業は、他市町村に比較して農業諸条件に恵まれた地域に属し、これまで農家及び関係機関の協力により発展をみました。しかし、近年農業構造の弱体化が進行しており、農業構造の再構築、すなわち再編が強く求められてきています。本町の再編課題は、第一に再編の基本方向をどう考えるか、第二に担い手をいかに育成・強化するか、第三に基盤整備、農地流動化、資本装備をいかに図るか、第四に組織化をどのように進めるか等です。そこで八十年代の本町農業の地域別基本方向を示すと次のとおりです。

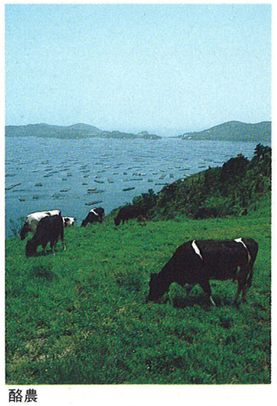
■西部平坦水田地域

本地域は、まず第一に用排水分離による水田の汎用化、受委託組織の育成強化等を通じて、大型米作経営を展開する。第二に酪農経営の飼料基盤の拡大と耕種農家の地力向上を図るため、水田裏作の集団的期間借地と補完結合の推進を図る。第三に中核農家については、水稲+野菜(主にいちご)の複合経営及び、受委託組織の育成を通じて水稲部門の規模拡大を図る。

■東部丘陵畑・水田地域

本地域では小起伏の丘陵地に畑と果樹園が形成され、合間に棚田が展開している。再編の第一は、畑地と果樹園等の土地基盤整備とかん水施設の整備である。第二に経営発展の方向としては、温暖な瀬戸内気象を充分に生かした集約的な野菜、果樹等の経営を行う。第三に畑地と果樹園等の地力増強のため畜産農家との補完結合を図る。

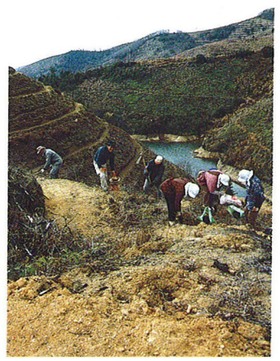
以上の展望のもとに、町は関係機関と協力しながら集落組織を中心に村づくりを進めて地域農業再編を実現し、生産基盤や生活環境等農村基盤の整備を推進します。



酪農

林業

山林面積は町の総面積のおよそ四六%を占めています。しかし、経済性樹種林は非常に少なく山林資源に乏しいのが現状です。また、松くい虫による激害のため松林はしだいに減少し荒廃化してきています。このため、ヒノキなどの経済性の高い樹種を植栽したり、林地の崩壊防止事業や松くい虫防除などを計画的に実施して、森林資源の育成・確保に努めています。



植林事業

漁業

瀬戸内海に接する尻海、虫明の各漁港を拠点とした漁船漁業は漁場の変化により漁獲量が減少してきたため、これに変わりかき養殖漁業が盛んに行われるようになってきました。しかし、かき養殖も近年漁場の老朽化が進み、海底の堆積物の除去を計画的に実施し漁場の若返りを図らなければなりません。また、共同出荷施設の建設や養殖利用区域の拡大などが必要となってきています。漁船漁業については、地理的条件を生かした釣舟などによる観光漁業に将来の発展が期待されます。

魚の出荷

旭東用排水組合

旭東用排水組合は、岡山市、備前市、邑久町、長船町の二市二町で組織されており、坂根合同堰大用水、香登川、千田川および千町川の用排水に関する事務を共同で処理しています。

かきうち

町の発展につながる商工業

商業

町内の商業販売額は、経済の安定成長下においても緩やかな上昇を続けています。その形態は従来から集落を対象とした小売店がほとんどで、商店街は尾張・虫明・尻海地区に比較的まとまりがみられる程度でしたが、最近、尾張地内の大型店の開店による商業圏人口の増加と都市的生活様式への移行は、商品の選択、販売品目の拡大など大きな影響がでてきています。そこで、今後商工会を中心として経営の近代化を促進し、特色ある清潔な商店街づくりが望まれます。

町商工会館

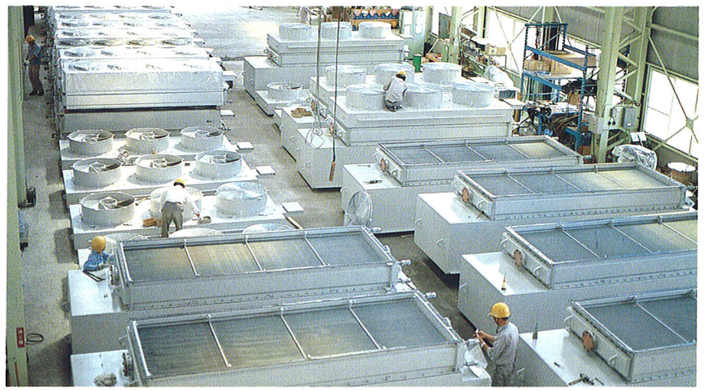
工業

現在、町内には錦海塩業株式会社、横山製網株式会社、アルファーエレクトロ工業株式会社、多田電機株式会社、畠山製菓株式会社など四十数社の企業が操業しています。また、工場敷地として造成が完了している数社については、景気の沈滞などにより工場建設が遅れていますが、早期操業を実現するよう企業への対応に努力しています。また、豆田地域農村工業導入地区についても積極的に公害のない企業の導入を図りながら、若い労働力の確保・定着化を進め、活気ある町づくりに努力しています。

製塩工場

製網工場

製菓工場



重電機用クーラー製造工場

希望にあふれるまちに

温かい愛情と正しい理解を

将来の社会を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つためには、家庭と社会の温かい愛情と恵まれた環境が必要です。現在、町立の児童福祉施設は町内に五か所設置されていますが、近年、就労婦人の増加、核家族化の進行、住宅地の増加などにより、保育の必要性は高くなっています。

また、昭和五十七年四月一日現在で、町内の母子・父子家庭は百九世帯、心身に障害を持つ人は一千九百四十六人です。これらの、親を失ったり家庭的に恵まれない子どもたちや、心身に障害を持つ人に対しては、正しい理解と援助が必要です。そして、この人たちが一日も早く安心して生活できるよう、母子・父子家庭の人には生活相談、生業指導を、障害を持つ人には自力更正、社会復帰のための適切な治療・保護をさらに強力に行っていかなければなりません。

老人憩いの家

給食を食べる子どもたち

お年寄りに生きがいを

平均寿命の伸長により、年々老齢人口は全国的に増加しています。邑久町の六十五歳以上の人口は、昭和五十七年五月一日現在で三千四百四人、一七・〇%となっており、昭和五十五年の一五・九%に比べ一・一%増加しています。このように、邑久町の老齢人口の比率は、今後いっそう高くなっていくことが考えられます。また、この傾向に加えて核家族化の進行は、独り暮らしの老人や寝たきり老人の増加、さらには地域・家庭における老人の孤独などの問題とあわせ、高齢化社会への対応は社会的にも行政的にも重要な課題となってきています。

これに対処するため老人福祉対策として老人健康診断の実施、老人家庭奉仕員の充実・老人福祉電話・特殊ベッド・エアーマットの貸与、老人居室整備資金の融資、また老人憩いの家を建設するなど、いろいろな施策や事業を積極的に進めています。しかし、今後よりきめ細かい福祉を進めていくには地域全体の温かい援護活動が必要で、社会福祉協議会、民生委員協議会のよりいっそうの活躍とボランティアグループの持ち味を生かした協力が期待されます。

敬老会でくつろぐお年寄り

養護老人ホーム

町立上寺山楽々園は、観光地で知られる上寺山の中腹に位置し、老人の憩いの場として完備された施設です。この老人ホームは老人福祉法により、老後を健康で明るく過ごしてもらおうとつくられたもので、現在、五十人のお年寄りが楽しく余生を送っています。

清掃奉仕をする楽々園のお年寄り

ゲートボールを楽しむお年寄り

福祉はみんなで考えていかねばならない問題です。いくら施設が充実しても解決できるものではありません。やはり、私たち一人ひとりの助け合いの精神が一番たいせつではないでしょうか。

他人の身になってものを考えられる。思いやりのある豊かな心が、希望にあふれるまちづくりの第一歩です。

伝統の息づくまち

私たちの町・邑久は伝統の息づくまち。長い歳月、しっかりと受け継がれてきた伝統工芸、郷土芸能などがたくさんあります。祖先の暮らしを知るための貴重な考古資料も、たいせつに保管されています。今も私たちの暮らしの中に息づく・ふるさとの祭り。子どもたちが奏でる〝しゃぎり〟の音もにぎやかに、〝だんじり〟をヨイショ！と引けば思わず「ふるさと、ばんざい！」と叫びたくなります。

虫明焼

備前国家老で風雅の人として知られた伊木三猿斉が、天保年中（およそ百三十年前）にこの地に窯をひらき、茶道の余技として焼物を楽しんだのが虫明焼のはじまりです。

その頃、京の名匠、清風与平を招いて茶器をつくったが、明治初年には同じく京都から名工、宮川香山（真葛）がこの窯に来て、安南、織部、乾山などの作品に擬し、呉須絵の作をつくり、独特のうわ薬、硬質の焼成で天下に虫明焼の名声をひろめました。香山の業を継いだ森香州も茶器・花器に名品をのこしているが、現在は岡山県の無形文化財に指定された黒井一楽氏がその伝統をうけついでおり、新風もおりこんですぐれた作品をおくり出しています。なお、虫明地区にはこのほかに数名の作陶家があり、虫明焼の復興が図られつつあります。

虫明焼の製作風景

虫明焼抹茶々碗

面浄瑠璃

いまも、邑久町円張部落に伝わる郷土芸能「面浄瑠璃」の起源は、近世末期とみられています。「面浄瑠璃」とも「面芸」ともよばれるこの郷土芸能は、百数十年にわたって伝えられ、今日では邑久町豊原の太田稔氏が伝えるのみとなっています。

おいて、役者は横幕の蔭にかくれて転がりながら面、衣裳を替えるという早わざをやってのけます。演目には「朝顔日記」「阿波鳴戸」「御所桜」「絵本太功記」「三勝半七」などがあり、昭和四十七年、岡山県の無形文化財に指定されています。

面浄瑠璃

この〝面芝居〟は、邑久郡一帯や横仙地方（奈義町一帯）および倉敷市三田を中心にひろがった郷土芸能で、昭和に入っても戦前までは農閑期、祭りなどで盛んに演じられました。面芝居というのは、一人の役者が張子の面をかぶり、義太夫節（浄瑠璃）と太棹の三味線にあわせて演じる仮面劇で、早替わりが見もの。取り替える面、衣裳はあらかじめ舞台前面の横幕の裏側に並べてくれた貴重な文化遺産で、その嚆矢として「しゃぎり」が伝えられています。この「だんじり」や「しゃぎり」をたいせつに保護・保存し、後世の人に引き継ぐため、各地区において保存会が結成されています。

だんじり

町内には重要民俗資料として、文化財に指定された「だんじり」が十基あり、春には大賀島の権現祭りと尻海神田宮の祭り、秋には下山田の八幡神社の祭りに「だんじり行列」が行われ、おおぜいの参拝者でにぎわいます。「だんじり」は、祖先が残して

下山田のだんじり

しゃぎり

邑久考古館

昭和四十一年、二万数千点にのぼる貴重な考古資料を故長瀬薫氏が町に寄贈され、現在の町立邑久考古館の開設をみました。蔵品は主として当町を中心に、隣接町村の貝塚・古墳などからの出土品で、無土器時代から鎌倉時代までの石器・土器・骨角器、陶棺など貴重な文化遺産の数々が展示され、町内外から多くの見学者が訪れています。

邑久考古館

豊安だんじり

歴史を語る文化財

私たちの町は、どんな歴史をたどってきたのでしょうか。古くから栄えた吉備文化の一画である邑久町には、古き歴史を今に伝える寺院、仏像、甲冑などの文化遺産が数多く残されています。

祖先が残してくれた、この素晴しい〝遺産〟の語りかけるものを理解したいせつに次ぎの世代へ伝えていきましょう。

余慶寺本堂

余慶寺本堂

国指定重要文化財
（昭和54年5月22日指定）

上寺山余慶寺は天台宗に属し、備前四十八か寺の一つに数えられている大寺院です。現在も六か院が残っていてその威容を誇っています。

本堂は一山の総本堂で、観音堂とも呼ばれ境内の中央に位置して周辺に三重塔、薬師堂、鐘楼などが配置されています。桁行五間、梁間五間、単層、本瓦葺、入母屋造、江戸時代に増築された唐破風造りの向拝と背面に一間通りの庇がつく。妻飾は二重虹梁大瓶束式とし、破風下に三つ花懸魚を吊る。軒は二重繁垂木。円柱上に和様の出三斗を組み、中備に蓑束を置く。背部を除いて三方には無高欄の縁をつけ、正面中央二間には格子戸、その両脇及び両側面には引違板戸をたてています。

内部は前寄り二間通りと両側面一間通りを外陣とし、後方は内陣（三間四方）、脇陣、後陣とする。内外陣の境には菱欄間をはめてある。天井は内外脇後陣ともに主に竿縁天井であるが、外陣には大虹梁を架け渡して入側を化粧屋根裏とする。この本堂には永禄一三年（西暦一五七〇）の再建棟札があり、また木柄が太くて良質で、しかも室町時代の伝統的密教本堂の形態をよく保った重要な遺構です。

木造薬師如来座像〈上寺山余慶寺〉

木造聖観音立像 上寺山余慶寺

木造聖観音立像

国指定重要文化財
（大正6年8月13日指定）

像高一八六・八㌢、檜の一木造 漆箔及び素地。両肩部も含め宝冠から蓮肉に至るまで一材で彫成し、内刳もない。肉身だけ漆箔にしたあとがある。目許のやさしい丸顔の容貌、体奥の厚味が少なくなっている構造は頭と体を檜の一木から彫り出してある。頭部の螺髪も彫り出してあり、眼尻のつり上がったきびしい面貌、重い頭部と左胸襟の旋転は、備前および出雲地方の平安前期から中期にかけての仏像の中にまま認められ、体軀は重厚で衲衣の襞に飜波線が刻まれているところは、平安時代前期に流行したいわゆる貞観様式を多く残している。芸術性はきわめて高く、瀬戸内圏を代表する傑作の一つと評して過言ではありません。

木造薬師如来坐像

国指定重要文化財
（明治34年8月2日指定）

像高一八二・七㌢、檜材一木造、漆箔。

ことや、両膝の間の渦巻文の刀法がにぶい様式化されていることなどは、薬師如来坐像の表現とくらべ、いっそうやわらいだ姿となっている。制作年代は藤原時代中期から末期頃と見られます。

色々威甲冑

国指定重要文化財
（明治34年8月2日指定）

豊原北島神社の色々威甲冑は県内の大鎧、三領のうちで最も完全な姿をしており、大鎧の確かな構造を知るうえで非常に貴重な資料です。色は草摺を含め全体が浅葱、胴と草摺をつなぐ揺ぎが縹色です。兜と大袖の中間に紫色が配せられ、全体として非常に落着いた配色です。基本構造をなす小札配列は全く当時のままである点、宝永七年の修理の慎重さがうかがわれ、この甲冑の評価を高めています。全体の金具類も鑿の切れがよく、枝菊高彫りなど当時の工芸技術の高さを物語っています。そして、それらの金物は数百年の風雪に耐え、すばらしい落ち着いた鍍金の色を見せています。

色々威甲冑 豊原北島神社

木造十一面観音立像

県指定重要文化財
（昭和54年3月27日指定）

像高一七二・五㌢、樒材一木造、頭上に化仏十面をいただき、右手は垂下して施無畏の印を結び、左手に宝瓶を持つ通常の十一面観音立像です。

柔和な顔の彫り、天衣、裳などを意識的に簡素に彫りあげられているなどは古式を残し、また檜材が多いこの時期に樒を使っているのは神木として意識的に使用したものであろう。可憐な尊顔は温和優美な藤原時代後期の様式を示しているが、技法的には平安前期後の一木造手法を伝え、全体に素朴な表現を貫いています。

木造十一面観音立像 上寺山余慶寺

欧風絵馬

県指定重要文化財
（昭和35年4月26日指定）

縦一〇九・五㌢、横一九八・五㌢、檜材の額幅八・九㌢。樒材の板の上に一部紙を貼り、特異な画法で、平将、莫邪の中国の名刀工夫妻を描いたものです。この絵画の額縁には、寛政四壬子年八月十五日とあり、また、画面の左に「暁山嶽国綱画」の署名と「三条源氏」「雲夢」の書印があります。国綱とは秋田藩主田代忠国の別名で、欧風画家として知られていました。当時尻海は回船業で栄えていたため、この絵馬が奉納されたものと思われます。

欧風絵馬　若宮八幡宮

静円寺本堂

県指定重要文化財
（昭和31年4月1日指定）

静円寺は真言宗古義派に属する寺院で山号を横尾山といい、寺記によると天平二年（西暦七三〇）に行基によって創建され、のち報恩大師により備前四十八か寺のうちの一つに選ばれたが、まもなく焼失し、延暦年間（西暦七八二～八〇六）に印喜法師によって再興されたといいます。

桁行五間、梁間五間、単層、入母屋造、本瓦葺、妻飾りは二重虹梁大瓶束式に蟇股を配し、破風下に三ツ花懸魚を吊ってある。背面を除く三面に高欄のない縁を設けている。平面、架構、装飾技法ともに中世密教本堂の特性を備えています。

静円寺本堂

静円寺多宝塔〈横尾山静円寺〉

静円寺多宝塔

県指定重要文化財
（昭和35年8月23日指定）

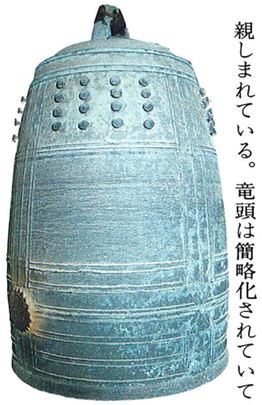
本堂の北側に位置する多宝塔は柱間三・三㍍という小型ながら、元禄三年（西暦一六九〇）の棟札写しが伝えられており、県下では笠岡市の偏照寺の多宝塔に次ぐ古さを誇っています。

総高一二㍍、方三間、本瓦葺、柱は桜の円柱で、上層は円筒形の軸部に宝形造の屋根をのせ、胴部に高欄をまわしてある。軒は一軒扇垂木、天井を小組格天井につくり、組物の数を少なくして出三斗にする。下層は軒が二間繁垂木、蛇腹支輪をかける。心柱は下層の中央天井から上層を貫き、相輪に達する。この塔の相輪高は三・六三㍍で露盤、伏鉢、受花、九輪、三重蓮華、宝珠、水煙で構成されています。

梵鐘

県指定重要文化財
（昭和31年4月1日指定）

総高九四・八㌢、口径五九・一㌢。本堂わきに位置する鐘楼に吊されている梵鐘は、室町時代末頃に鋳造された青銅製のもので、音色のよいことから上寺山の晩鐘と親しまれている。竜頭は簡略化されていてやや小さく、撞座は位置が低く、駒の爪はふくらみをみせている。胴張りのある形姿の優れた鐘です。



梵鐘〈上寺山余慶寺〉

備前焼永禄銘花瓶

県指定重要文化財
（昭和31年4月1日指定）

高さ五〇・八㌢、口径三三・七㌢、胴径三二・〇㌢。姿は端正で焼成は赤褐色がやや黒味を帯びた花瓶で、口縁から肩にかけて菜種胡麻が流れ、肩には美しいロクロ目がかかっている。また、胴まわりには「奉寄進横尾山本堂与雪散道清禅定門也施主香澄庄伊部木村与次郎、永禄十二年卯月廿一日敬白」と銘が箆書きされていて、永禄十二年（西暦一五六九）に伊部の木村与次郎によって本堂の什器として寄進されたことがわかります。

備前焼永禄銘花瓶〈横尾山静円寺〉

備前焼永正銘花瓶

県指定重要文化財
（昭和31年4月1日指定）

高さ六〇・二㌢、口径三八・〇㌢、胴径三五・六㌢。姿は端正で威厳があり、褐色によく焼きしめ、やや黒味を帯び、わずかに口縁上部と肩に胡麻が流れている。また、胴部の下部には、はけ目があり肩から胴にかけて「奉寄進横尾山永正九年六月　日、伊部木村三郎右衛門」と箆書きしてあり、室町時代の製作でしかも最古の在銘がある優れた大形花瓶であることがわかります。

備前焼永正銘花瓶〈横尾山静円寺〉

虫明の迫門の曙見る折ぞ
都のことも忘られにけり

玉葉集・平忠盛
（赤枝香城書）

虫明の迫門（瀬戸）の曙見る折ぞ
都のことも忘られにけり

玉葉集・平忠盛
（赤枝香城書）

邑久町は、山あり川あり海ありと、恵まれた自然にかこまれた美しい町。名所旧跡も数多く、古くから詩や歌に読まれ、特に〝虫明瀬戸の曙〟は有名です。

■虫明瀬戸の曙

虫明港に立って東の空を望めば、右に長島、その先に大多府、遙かに鶴島が浮かび、左に鴻島、その先に頭島、鹿久居島と連なり、真東に対する左右の島々の間、天と海の接するあたりから朝日が昇る。真赤に空は燃え、海も島も黄金色に染まる。その景観はまさに壮厳そのものです。虫明瀬戸の曙の見頃は秋で、二百十日前後の一週間が最高だと、昔からいわれています。

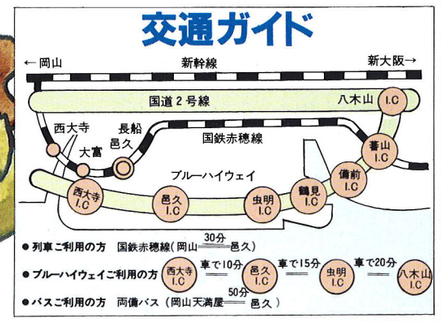
瀬戸内海国立公園

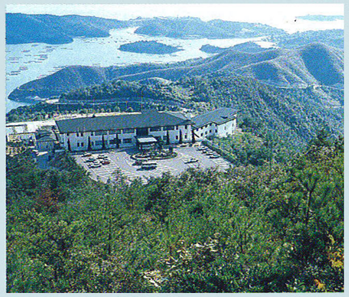
おく見てある記

SIGHT-SEEING OKU

町営グラウンド
福中ポンプ場
上寺山余慶寺
おく
おおどみ
国鉄赤穂線
岡山ブルーハイウエイ
老人憩いの家
邑久I.C
砥石城跡
黒井山等覚寺
黒井山グリーンパー
テニスコート
野鳥の森
岡山
勤労者
いこいの村
片上大橋
虫明I.C
虫明港
一本松展望園
横尾山静円寺
夢二少年山荘

交通ガイド





勤労者いこいの村

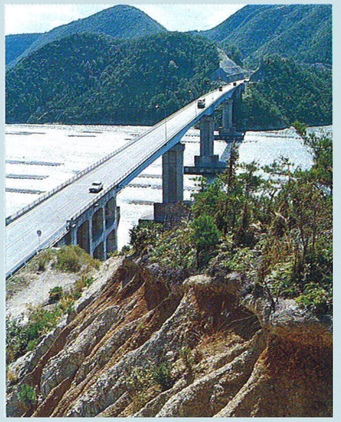
大平山・野鳥の森

黒井山グリーンパーク・バッテリーカー

黒井山グリーンパーク・ローラーすべり台

王子の滝〈雄滝〉

王子の滝〈雌滝〉



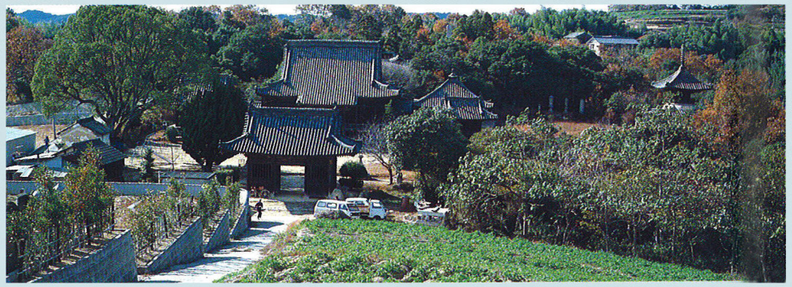
岡山ブルーハイウェイ・片上大橋

モーターグライダー

野鳥の森・観察小屋

勤労者いこいの村・テニスコート

稚児行列



静 円 寺

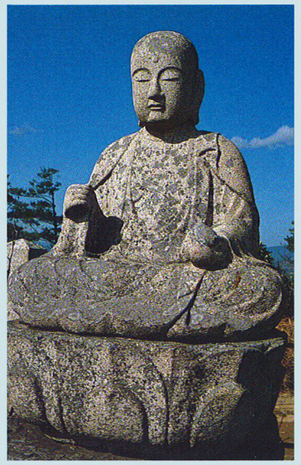
稚児

夢二の生家

夢二少年山荘

若宮八幡宮

張り子の虎



石仏・大賀島

幼稚園

中学校

小学校

豊かなまちも、明るい社会も、すぐれた文化を創るのも、その出発点は人づくり。〝明日をになう子どもたち〟が、知性豊かでたくましい人間に育つことはみんなの願いです。町では教育内容の充実に、学校施設の改善にと、力いっぱいの努力を続けています。旧邑久・裳掛両中学校を統合して昭和五十五年四月に新たに開校した邑久中学校は、近代的な設備と広大な運動場をもつ恵まれた教育環境の中で教育の成果をあげています。また、老朽危険校舎をもつ玉津・今城両小学校も、三十周年記念事業の一環として昭和五十七年度において、全面改築が進行しています。

現在、町内の教育施設は▼幼稚園＝邑久、今城、玉津、裳掛の四園で、学級数―八、幼児数―二百二十九人。▼小学校＝邑久、今城、玉津、裳掛の四校で、学級数―五十一、児童数―一千八百四人。▼中学校＝邑久中学校一校で、学級数―二十一、生徒数―八百一人。▼高等学校＝県立邑久高等学校一校で、学級数―二十三、生徒数―九百八十一人となっています。

今、学校では新しい教育課程のもとに、知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな人づくりへの教育がすすめられています。

たこあげ集会

高等学校

明日を担う子どもたち

風船に花の種をつけて大空に

こころ豊かな人に育て

オリエンテーリング大会

マラソン大会

「非行の激増」「親子の断絶」「ひよわな子」……子どもたちをめぐって、現在さまざまな問題が投げかけられています。

青少年を健やかに、こころ豊かに育てるための環境は、大きくわけて家庭と学校と地域社会といわれます。特に家庭は、人格形成の基礎をつくる重要な場です。非行が増えるとともに、「非行の原因は家庭のあり方、しつけにある。」という声を耳にします。しかし、個々の家庭だけに責任を負わせていたのでは問題は解決しません。青少年を健全に育成するためにはやはり、家庭の集りである地域社会の課題として環境をととのえ、地域の子どもは地域で育てるという、理解と取り組みがなければなりません。町では、町青少年問題協議会や町FOS少年団など多くの団体の協力を得て、広範な青少年健全育成の活動をすすめています。また、各地区の子ども会をはじめ、剣道、野球、ソフトボールなどのスポーツ少年団や児童合唱団などの諸活動、地域ぐるみの補導活動など、地域の人々の協力によっていろんな活動の輪がひろげられ、健全育成の効果をあげています。

邑久児童合唱団

生きがいのある、充実した人生を送るための生涯教育の必要が叫ばれ、社会教育への町民の期待と要請は、年を追って高まりつつあります。高齢者学級をはじめ、若葉

バレーボールの練習をする町青年団

FOS少年団の募金活動

・青葉学級、青年学級などの研修活動や、各種文化グループ、趣味の会の活動も年々その輪がひろがり、活発な活動が展開されています。こうした社会教育の拠点としての中央公民館の建設も、町制施行三十周年の記念事業として、現在進められています。

また、健康づくり、体力づくりをめざしての体育、スポーツ活動は、体育協力を中心として多彩な活動が行われ、スポーツ人口も年々増加しています。こうした住民要求に応えるための体育施設の充実についても、現在計画が進んでいます。

習字クラブ

剣道スポーツ少年団

安全で快適な生活環境を

人間生活の基本的な場として、安全で快適な生活環境の確保は、町づくりの最も重要なことです。
町では、ごみの分別収集、し尿収集および公害の防止、交通安全対策などを図り、みんなが快適でゆとりのある暮しを営むことができる生活環境の実現をめざしています。また、日常生活に密着した健康づくり運動、健康相談などを行い、心身ともに健康な社会生活が送れるよう活動しています。

小学生による交通安全パレード

健康・医療

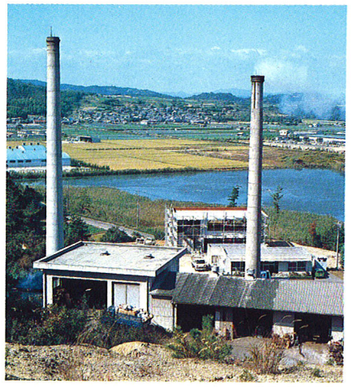
町立病院

乳児健診

住民の健康づくり、体力づくりをめざし健康増進大会の開催、米の栄養価を見直す消費拡大など多彩な事業を行い、健康増進への知識や意識の啓発につとめています。また、保健所、医師会、各地区の栄養委員、愛育委員の協力により、栄養改善、乳幼児の健康診査、妊産婦の保健指導や育児相談、成人病検診、予防接種などの地域に根ざした活動を続けています。また、このような活動をいっそう促進するため、町制施行三十周年記念事業として、保健センターの建設を進めています。

次に医療体制として、ハンセン氏病の国立療養所（邑久光明園・長島愛生園）＝二、町立病院＝一、診療所＝一、および開業医（歯科含む）十四、計十八施設があり、町民の健康を守るための重要な役割を果たしています。また、在宅当番医制および二次救急医療体制を整備し、町民に対する医療サービスの向上に努めています。

ごみ処理


ごみ処理場

牛窓町と共同で設置したごみ処理場は、宅地開発による人口の増加や生活様式の変化などにより、ごみの量が増大したため、昭和五十年に焼却炉を増設し、現在31㌧の処理能力をもっています。また、分別収集に伴い生ごみの高速堆肥化施設（コンポスト）を導入して廃棄物の再利用に取り組んでいます。

し尿処理

邑久町外一市二町が共同で設置した、岡山市神崎町にあるし尿処理場は、一日70㎘の処理能力をもっています。町内の収集業務は、現在許可業者によって行っていますが今後、より計画的な収集を進めていきます。

し尿処理場

上水道

福山浄水場

私たちの日常生活に欠くことのできない飲料水は、邑久牛窓水道企業団によって供給されています。水の需要は年々増加しており　昭和六十五年には二万二千人の給水人口が想定されています。このため企業団としては、施設の拡張工事を行い増加する水の需要に備えています。

また、人口の増加と生活様式の多様化に伴い、生活排水による河川、用排水路の汚染が憂慮されています。住宅が増え、都市化が進むにつれて、これらに対処するよう計画的な下水道の建設が、今後必要となってきます。

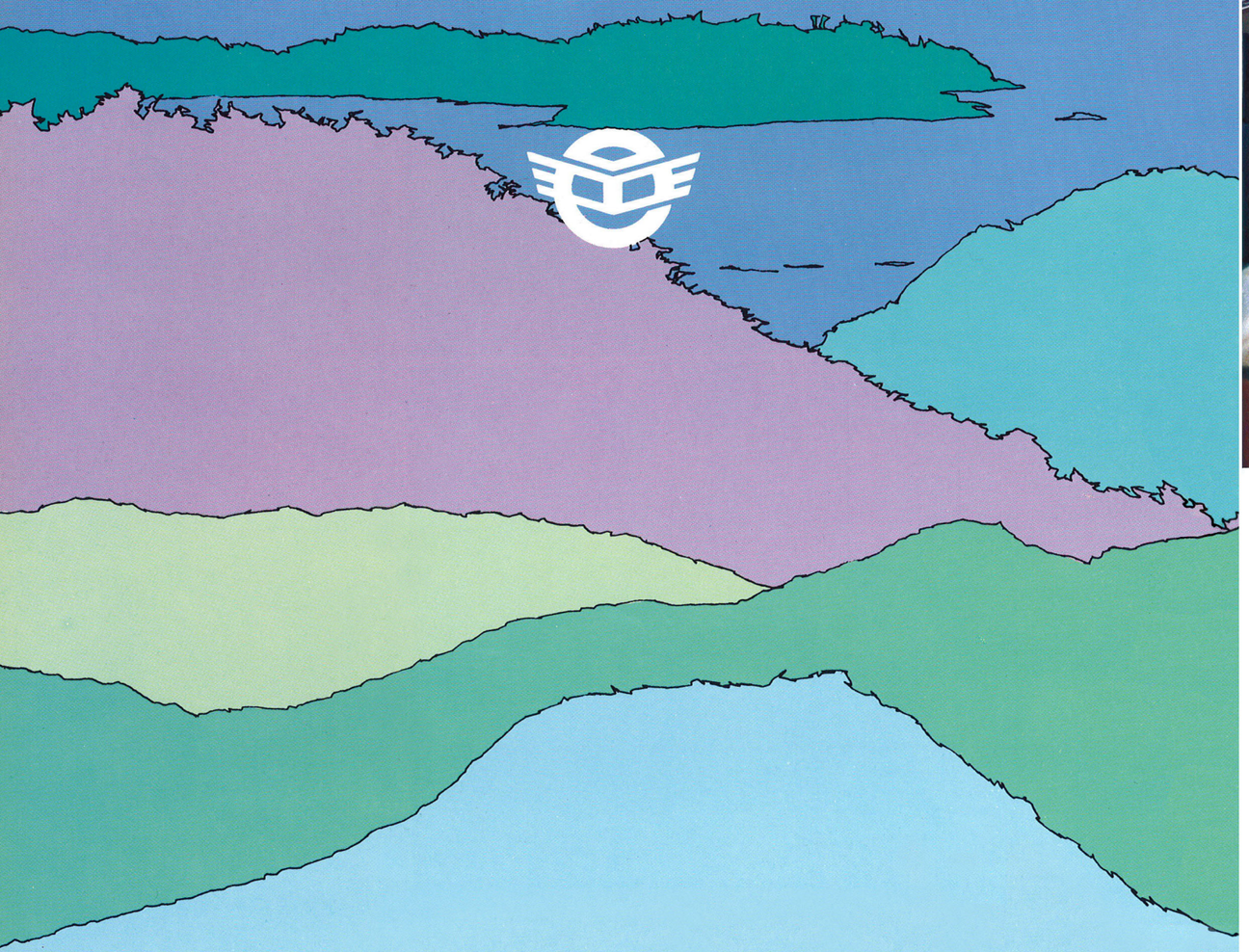
防災

邑久消防組合

災害は忘れたころにやってきます。この災害から住民の生命・財産を守り、みんなが安全で快適な生活が営めるようにしなければなりません。そこで、災害を未然に防止するため、河川、ため池などの危険個所を点検し、重点的な改良整備が進められています。また、邑久町、長船町、牛窓町の三町で邑久消防組合を組織し、常備消防体制をとっています。そして、万一災害が発生しても、直ちに応急措置ができるよう邑久町地域防災計画に基づき、消防団などの防災体制の整備を行っています。

まちのすがた

邑久町



1 邑久町30年のあゆみ
2 土地
3 人口
4 名誉町民
5 行政・議会
6 財政
7 建設
8 産業
9 福祉
10 生活環境
11 教育
12 文化
13 絵でみる町のくらし 財

議会風景

議長　坂本　二郎

町長　木下　友次

副議長　岩見　正雄

教育長　上野　進

収入役　山内　利雄

助役　水田　一夫

まちのすがた……1

邑久町30年のあゆみ

10周年記念分収造林

20周年記念式典

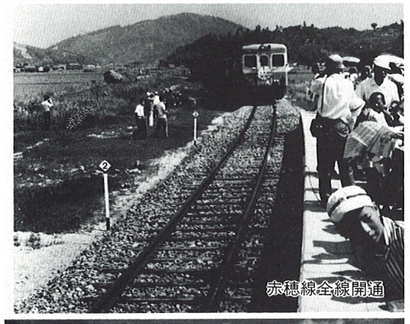
邑上橋開通

10周年記念式典

町民体育大会

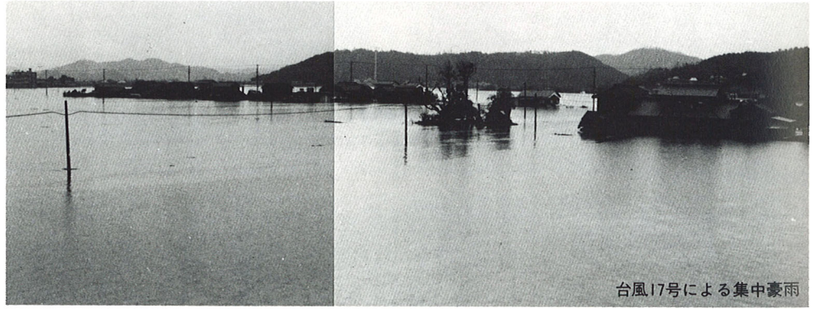
岡山ブルーハイウェイ開通

国営吉井川土地改良事業



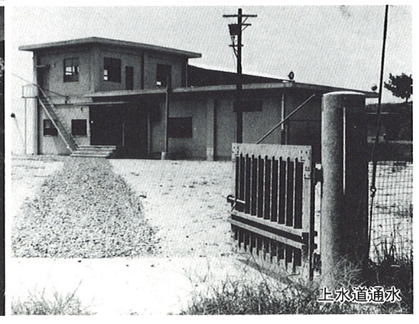
赤穂線全線開通

錦海塩業誘致



台風17号による集中豪雨

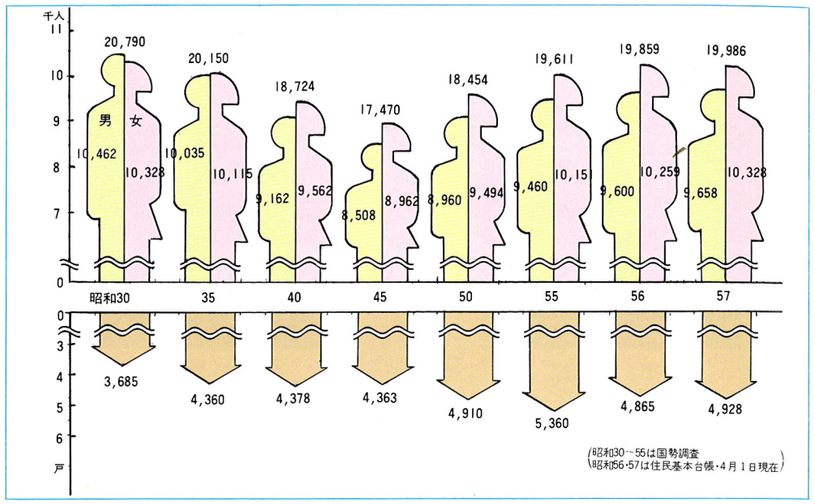
農業構造改善事業



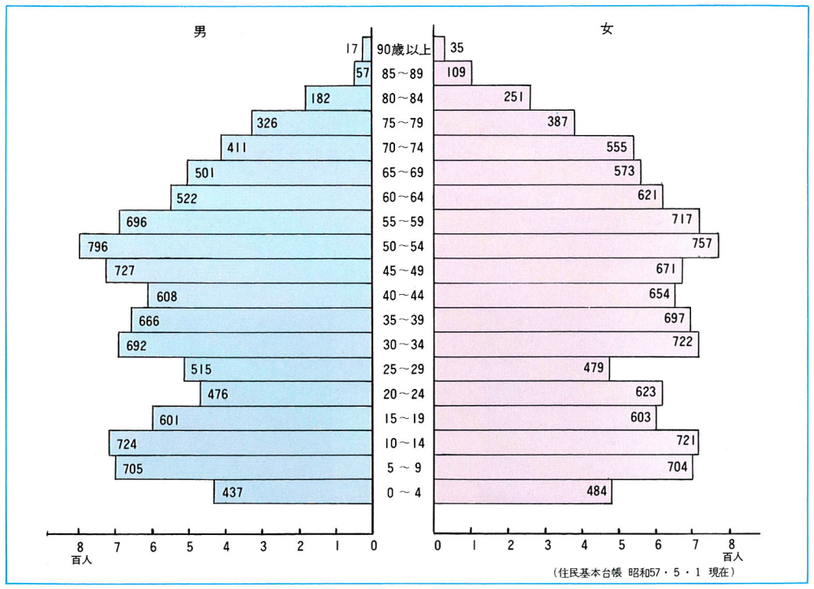
上水道通水

年月	主なできごと
昭和27・4	町制施行、庁舎新設
27・9	邑久町立病院開設
28・2	長沼部落の一部西大寺市へ分離
28・2	上寺山養老院開設
29・1	玉津村を合併
29・3	邑久保育園竣工
29・5	合併功労団体として全国初の総理大臣表彰を受賞
30・5	福田保育園竣工
32・1	錦海塩業組合塩田干拓起工
33・3	裳掛村を合併
34・4	錦海塩業㈱誘致
36・4	上水道通水
36・11	合併十周年記念事業として奥津町に分収造林事業実施
37・4	町制施行十周年
37・9	赤穂線全線開通
38・4	農業構造改善事業着手
40・1	邑久町公民館竣工
40・3	裳掛幼稚園竣工
40・4	邑上橋竣工
41・6	福山地区吉井川提防完成
41・12	岡山市外三町衛生施設組合設立
42・4	尻海宅地造成竣工
43・3	裳掛児童館竣工
44・4	邑久、福田、豊原、明徳、淳風小学校を統合・新邑久小学校発足
44・6	県道箕輪尾張線道路改良事業（駅前附近）完成
44・6	邑久・牛窓ごみ処理施設組合設立
44・8	㈱旭大理石工作所誘致
44・10	㈱ボーグスタジオ誘致
44・12	アルファーエレクトロ工業㈱誘致
46・3	統合邑久小学校竣工
46・3	学校給食共同調理場竣工
46・4	邑久町農業共済事業を町に移譲
46・6	畠山製菓㈱誘致
46・8	農業振興地域に指定
47・1	邑久町立病院竣工（改築）
47・4	町制施行二十周年
47・9	多田電機㈱誘致
48・5	田島応用化工㈱誘致決定
48・5	田島ルーフィング㈱誘致決定
48・10	大同機工㈱誘致決定
48・4	虫明漁港修築事業着手
48・12	国営吉井川土地改良事業町内着工
49・4	邑久消防組合設立
50・9	国土調査（10か年計画）開始
51・4	第二次農業構造改善事業着手
51・5	玉津コミュニティセンター竣工
51・9	台風17号による集中豪雨
51・10	町道大平線道路改良事業着手
51・12	河川激甚災害対策特別緊急事業認可・干田川改修工事着手
52・7	岡山ブルーハイウェイ開通
53・3	上寺山楽々園竣工（改築）
53・10	津村順天堂㈱誘致決定
54・4	地域農政特別対策事業着手
54・4	今城保育所竣工
54・4	岡山勤労者いこいの村完成
55・3	統合（邑久・裳掛）邑久中学校竣工
55・3	玉津保育所竣工
56・3	邑久幼稚園竣工
56・4	虫明漁港関連道開通
56・6	激特事業・福中ポンプ場完成
57・3	裳掛コミュニティセンター竣工
57・4	老人憩いの家竣工
57・7	中央公民館・保健センター建築工事着手
57・7	今城・玉津小学校改築工事着手

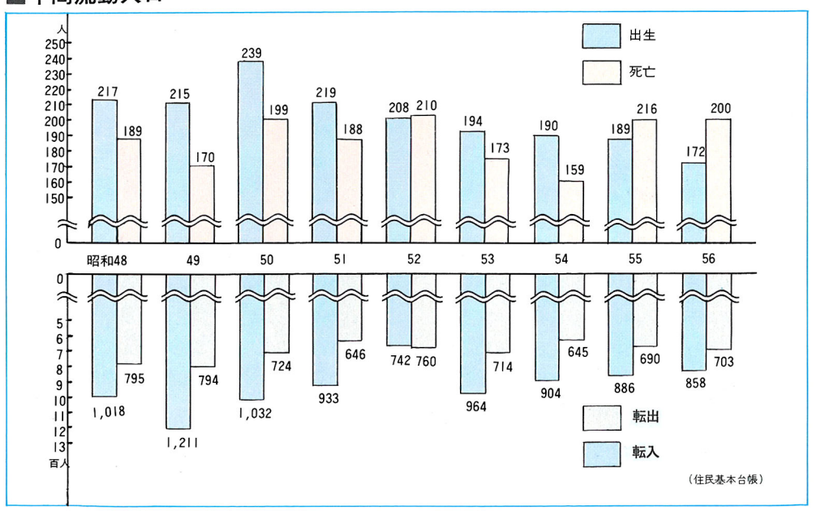
■人口・世帯数の推移



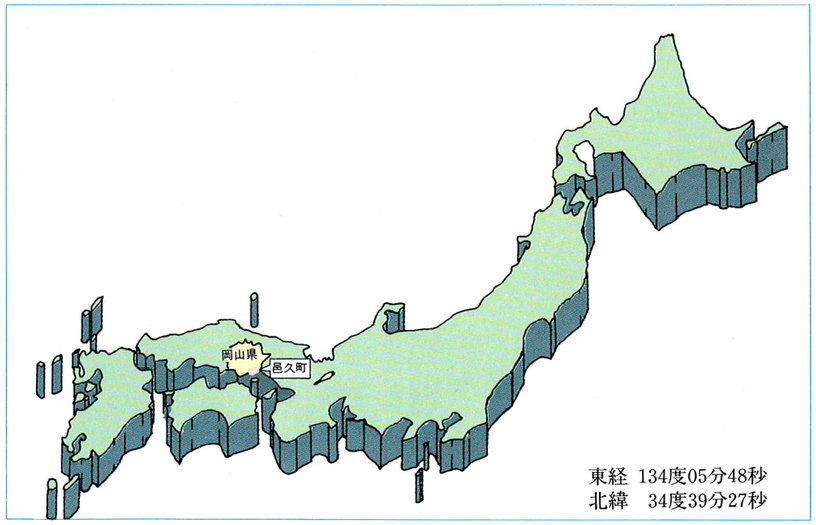
■階層別人口



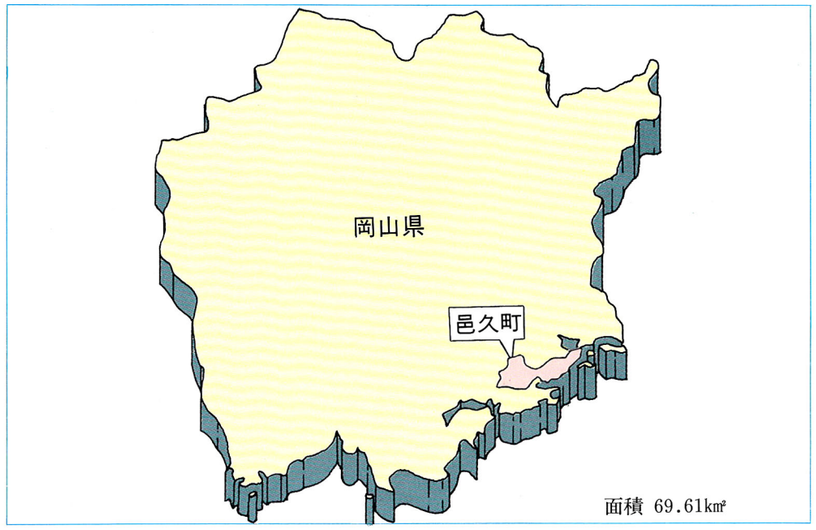
■年間流動人口



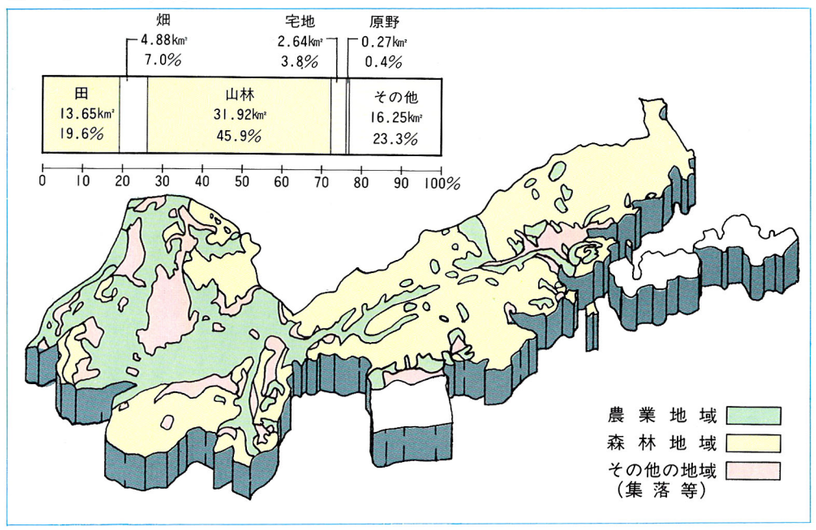
■町の位置



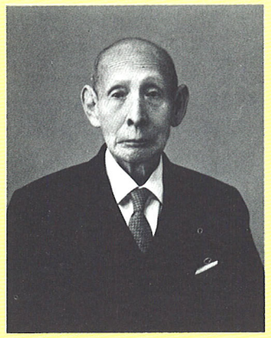
■町の面積



■土地の利用状況

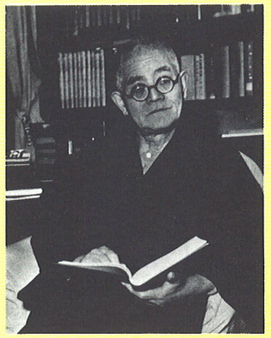


名誉町民



奥田　真須二

明治15年２月23日、邑久村に生まれる。明治31年、私立閑谷黌卒業後、邑久郡静修尋常小学校教員となる。邑久郡邑久高等小学校長、岡山県邑久高等女学校長などを歴任し、昭和８年11月、教育功労者として帝国教育会長表彰をうける。昭和23年４月、邑久郡邑久村長に就任。昭和27年４月、初代邑久町長に就任、昭和30年12月退任。昭和38年３月、本町名誉町民となる。昭和40年２月、84歳で逝去。

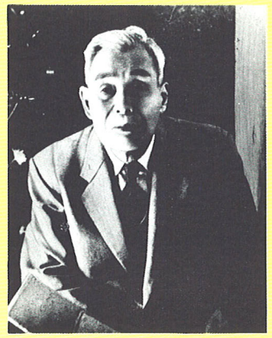


古武　弥四郎

明治12年７月２日、本庄村に生まれる。明治35年大阪医学校を卒業後、生化学の権威、京大総長荒木寅三郎博士に師事した。阪大教授、微生物研究所長、医学部長、和歌山医大学長を経て昭和36年３月に退官。医学博士。半生をアミノ酸の研究にかたむけ、その業績によって昭和36年11月、文化功労者の栄誉をうける。昭和30年11月、本町名誉町民となる。昭和43年に89歳で逝去。

嘉敷　郁衛

明治32年10月８日、邑久村に生まれる。大正８年、岡山県邑久土曜学校卒業後、大正10年、岡山県職員として奉職。経済部食料課長、物資課長を歴任し、昭和26年６月、岡山県人事委員会長に就任、昭和30年６月退任。昭和31年１月、邑久町長に就任。国鉄赤穂線敷設に尽力、製塩工場及び関連化学工場誘致、上水道の敷設など、昭和51年１月に退任するまで、４期16年間、町発展のために尽くした。昭和52年４月、勲五等双光旭日章をうける。昭和53年10月、本町名誉町民となる。

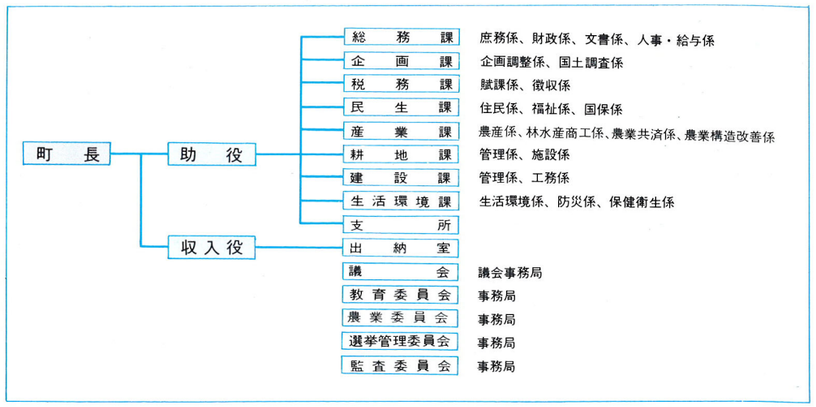


光田　健輔

明治９年１月11日、山口県防府市に生まれる。明治31年東京帝大病理撰科を卒業後、東京市養育院に奉職、昭和６年長島愛生園長となる。昭和32年に愛生園長の職を退くまでの人生を救ライ一途にささげた。昭和24年朝日新聞社会奉仕賞。昭和26年７月、文化功労者。同11月、文化勲章をうける。昭和33年７月、本町名誉町民となる。昭和36年１月、社会福祉における国際的な最高賞であるダミエン・ダットン章をうける。昭和39年に88歳で逝去。

行政・議会

■行政機構図



■歴代町長

歴代	氏　名	在職期間
1	奥田真須二	S27.4.29～S30.12.31
2	嘉數　郁衛	S31.1.20～S39.1.19
3	井上　関次	S39.1.20～S43.1.19
4	嘉數　郁衛	S43.1.20～S51.1.19
5	木下　友次	S51.1.20～

■歴代助役

歴代	氏　名	在職期間
1	加藤　博 小林　徳太	S27.6.4～S29.11.5 S27.6.4～S27.12.28
2	水野　梶郎 服部　正志	S30.3.14～S30.12.31 S30.3.17～S30.12.31
3	大河原　稔	S31.2.27～S43.2.26
4	木下　友次	S43.4.30～S50.12.10
5	太田　二郎	S51.4.5～S55.8.10
6	水田　一夫	S55.11.1～

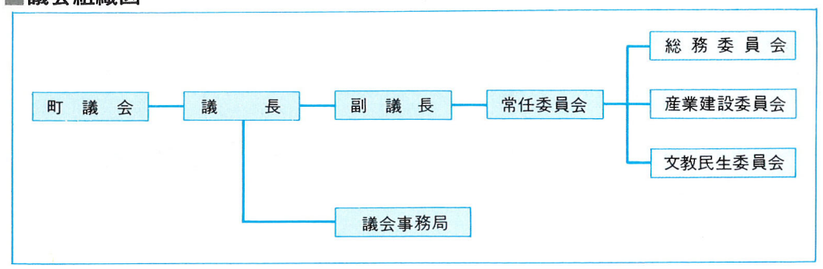
■歴代収入役

歴代	氏　名	在職期間
1	木村　靖太	S27.6.4～S30.12.31
2	入江　良知	S31.2.21～S43.2.20
3	国塩京太郎	S43.4.30～S51.4.29
4	赤松　強	S51.5.4～S56.10.6
5	山内　利雄	S56.11.1～

■歴代教育長

歴代	氏　名	在職期間
1	加藤　博	S27,10.6～S28.5.30
2	岡本　一可	S28,6.1～S31.9.30
3	三宅　東男	S31.10.1～S43.9.30
4	大森　勝	S43.10.1～S50.1.6
5	宇津木助雄	S50.1.21～S55.9.30
6	上野　進	S55.10.1～

■議会組織図



■歴代議長

歴代	氏　名	在職期間
1	岩井　寛	S27.5.7～S30.4.17
2	田中　義雄	S30.4.18～S31.4.28
3	家野　富太	S31.4.30～S41.4.24
4	入江　幹夫	S41.4.25～S43.4.28
5	松本　春繁	S43.4.30～S46.3.12
6	岡　庫次	S46.7.15～S47.4.28
7	武田　勝正	S47.4.30～S50.3.26
8	馬場　良策	S50.4.12～S51.4.28
9	小林　英敏	S51.5.3～S55.4.28
10	坂本　二郎	S55.5.6～

■歴代副議長

歴代	氏　名	在職期間
1	田中　義雄	S27.5.7～S30.4.18
2	上野　保太	S31.4.30～S35.4.28
3	松本　春繁	S35.5.2～S39.4.28
4	〃	S39.4.30～S43.4.30
5	武田　勝正	S43.4.30～S46.7.15
6	坂本　二郎	S46.7.15～S51.4.28
7	出井　正義	S51.5.3～S55.5.28
8	岩見　正雄	S55.5.6～

■県道の現況

路線名	総延長	改良延長	改良率	舗装延長	舗装率
備前牛窓線	2,581.1m	2,259.9	87.6%	2,581.1m	100%
西大寺備前線	5,362.7	4,364.8	81.4	5,362.7	100
板根西大寺線	564.2	564.2	100.0	564.2	100
福谷小才線	2,293.0	146.4	6.4	2,293.0	100
箕輪尾張線	3,028.3	3,028.3	100.0	3,028.3	100
瀬西大寺線	16,533.2	13,587.2	82.2	16,533.2	100
虫明長浜線	9,680.6	2,849.6	29.4	9,680.6	100
牛窓邑久西大寺線	7,299.0	3,418.0	46.8	7,299.0	100
神崎邑久線	2,386.5	1,221.0	51.2	2,386.5	100
庄田敷井線	2,017.8	7.0	0.3	2,017.8	100
高助西浜線	1,624.6	984.5	60.6	1,624.6	100
上阿知本庄線	2,653.0	2,422.5	91.3	2,653.0	100
上山田鹿忍線	671.0	671.0	100.0	671.0	100
飯井宿線	1,165.5	940.0	80.4	1,169.5	100
寒河本庄岡山線（岡山ブルーハイウェイ）	18,020.4	18,020.4	100.0	18,022.4	100
計	75,884.9	54,484.8	71.8	75,884.9	100

■町道の現況

種別	路線数	総延長	改良延長	改良率	舗装延長	舗装率
1級	9	22,000m	17,793m	80.9%	19,387m	88.1%
2級	18	29,656	10,147	34.2	23,609	79.6
その他	728	750,051	26,299	3.5	228,975	30.5
計	755	801,707	54,239	6.8	271,971	33.9

■一級河川

河川名	延長	要改良延長	改良済延長	改良率
吉井川	5,100m	0m	5,100m	100.%
干田川	6,100	1,400	4,700m	77.0
香登川	2,600	2,300	300m	11.5
九三川	600	500	100	16.7
計	14,400	4,200	10,200	70.8

■二級河川

河川名	延長	要改良延長	改良済延長	改良率
千町川	9,000m	8,800m	200m	2.2%
千町古川	1,600	1,600	0	0
是安川	3,600	3,000	600	16.7
奥山川	2,500	1,900	600	24.0
計	16,700	15,300	1,400	8.4

■砂防河川

河川敷	指定延長	整備延長	整備率
円張川他28河川	25,874m	12,880m	49.8%

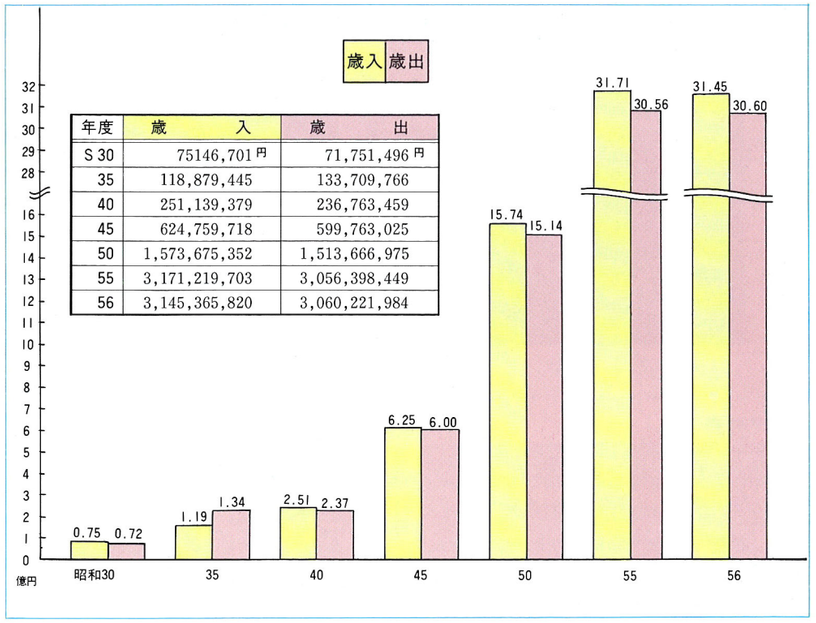
■町管理河川

河川数	指定延長
尾張川他25河川	20,432.5m

■港湾の現況

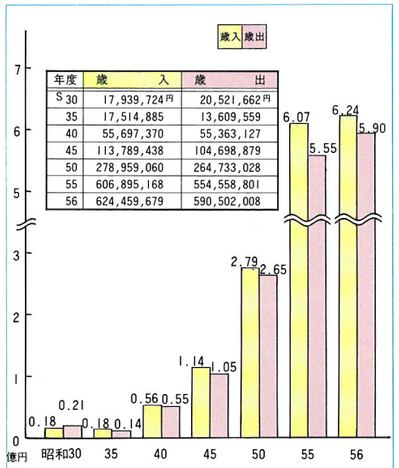
管理者	港湾名	沿岸保全区域延長	水域面積	護岸延長	防波堤延長	物揚場面積
邑久町	玉津港	600m	461,080m	1,234m	115m	2,498m
〃	知尾港	259	93,200	682	0	48
〃	間口港	1,494	219,200	1,059	0	392.4
〃	布浜港	270	69,200	179.4	60	675
岡山県	虫明漁港	1,641	469,300	2,281	573	14,302
計	——	4,264	1,311,980	5,435.4	748	17,915.4

■一般会計の推移



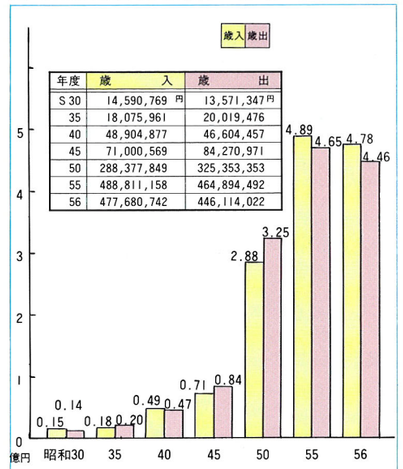
年度	歳入	歳出
S30	75146,701円	71,751,496円
35	118,879,445	133,709,766
40	251,139,379	236,763,459
45	624,759,718	599,763,025
50	1,573,675,352	1,513,666,975
55	3,171,219,703	3,056,398,449
56	3,145,365,820	3,060,221,984

■国民健康保険特別会計の推移



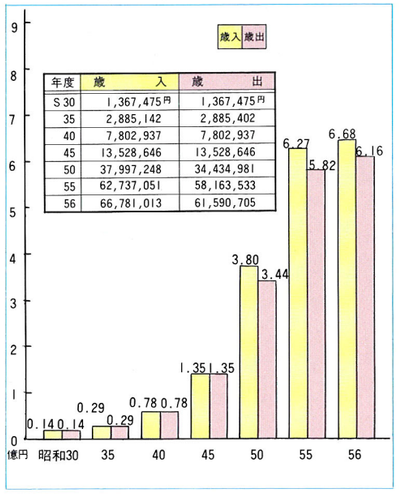
年度	歳入	歳出
S30	17,939,724円	20,521,662円
35	17,514,885	13,609,559
40	55,697,370	55,363,127
45	113,789,438	104,698,879
50	278,959,060	264,733,028
55	606,895,168	554,558,801
56	624,459,679	590,502,008

■町立病院特別会計の推移



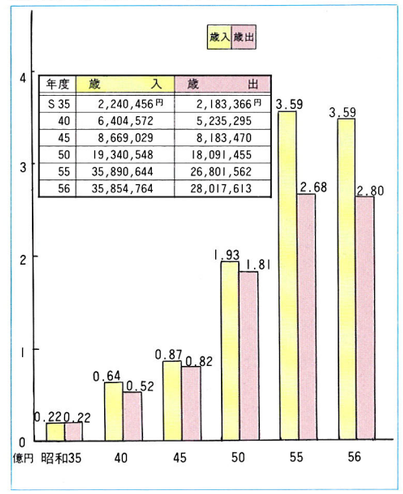
年度	歳入	歳出
S30	14,590,769円	13,571,347円
35	18,075,961	20,019,476
40	48,904,877	46,604,457
45	71,000,569	84,270,971
50	288,377,849	325,353,353
55	488,811,158	464,894,492
56	477,680,742	446,114,022

■上寺山楽々園特別会計の推移



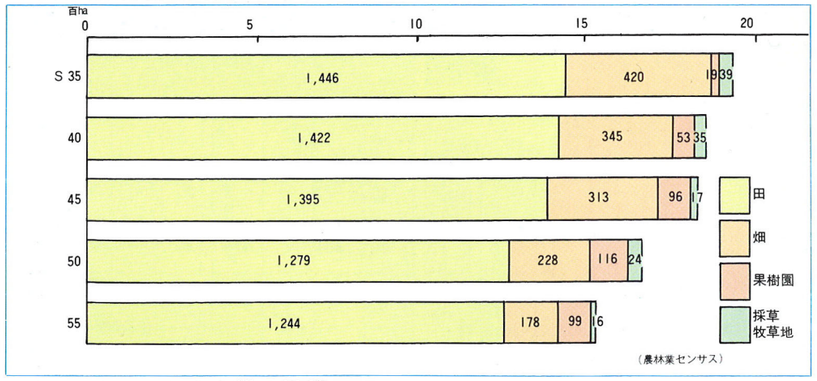
年度	歳入	歳出
S30	1,367,475円	1,367,475円
35	2,885,142	2,885,402
40	7,802,937	7,802,937
45	13,528,646	13,528,646
50	37,997,248	34,434,981
55	62,737,051	58,163,533
56	66,781,013	61,590,705

■裳掛診療所特別会計の推移



年度	歳入	歳出
S35	2,240,456円	2,183,366円
40	6,404,572	5,235,295
45	8,669,029	8,183,470
50	19,340,548	18,091,455
55	35,890,644	26,801,562
56	35,854,764	28,017,613

■地目別経営耕地面積の推移



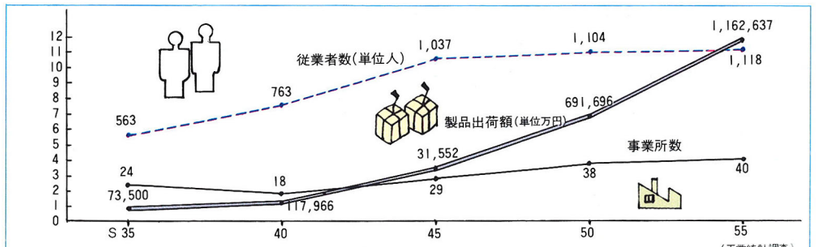
（農林業センサス）

■事業所数及び従業者数の推移

区分	従業者数 総数	個人業主	家族従業者	有給役員	雇用者 総数	雇用者 常雇	雇用者 臨時日雇	事業所総数
S 41	3,265人	358人	253人	111人	2,543人	2,122人	421人	478
44	4,253	354	258	114	3,536	3,259	277	486
47	3,694	327	243	220	2,904	2,810	94	487
50	3,930	326	223	211	3,170	3,023	147	491
53	4,254	345	231	230	3,448	3,187	261	524

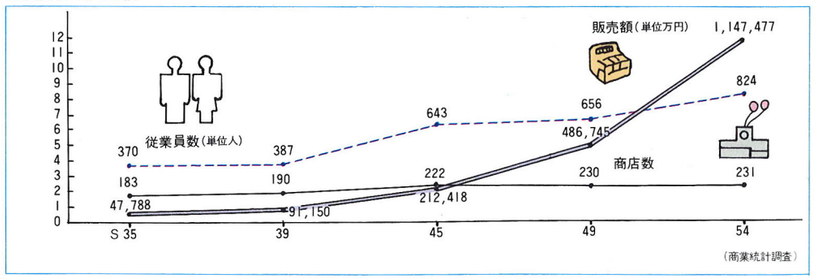
（事業所統計調査）

■工業の推移



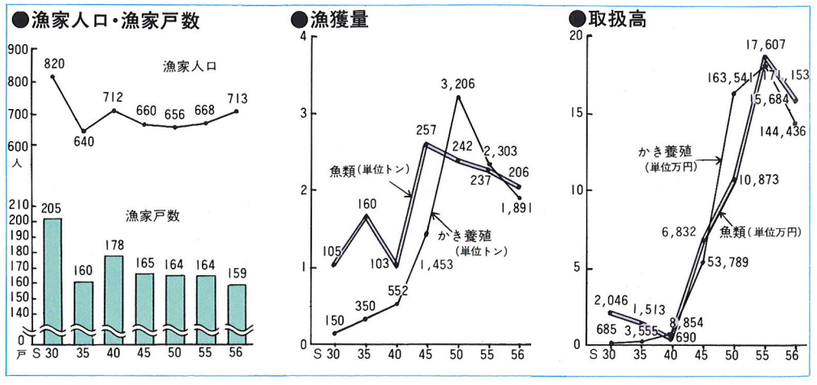
（工業統計調査）

■商業の推移



（商業統計調査）

■漁業の推移

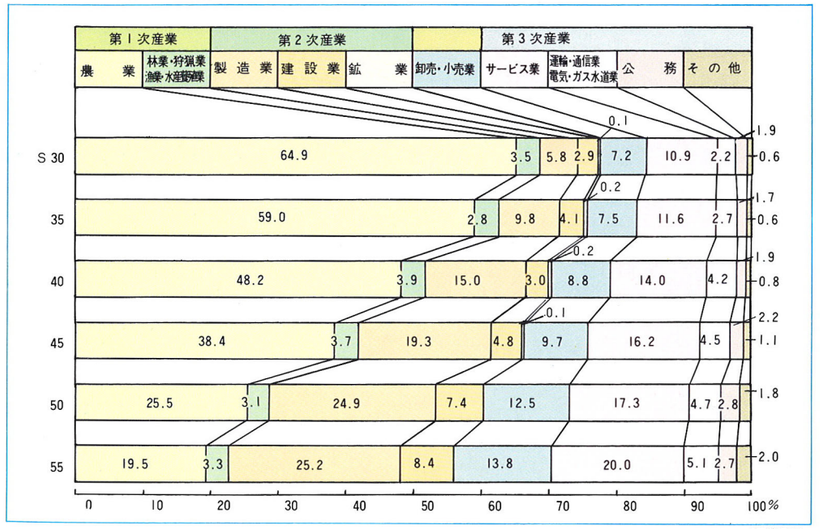


■産業別就業人口

産業別		S 30	35	40	45	50	55
第一次産業	農業	5,833	5,240	4,412	3,510	2,233	1,785
	林業・狩猟業	2	4	2	0	0	0
	漁業・水産養殖業	313	240	354	343	273	305
第二次産業	鉱業	12	20	22	11	3	0
	建設業	265	364	276	435	653	769
	製造業	519	871	1,372	1,763	2,176	2,314
第三次産業	卸売・小売業	644	668	804	885	1,094	1,263
	金融・保険・不動産業	50	51	66	95	141	178
	運輸・通信業	201	218	352	387	371	439
	電気・ガス・水道業		22	27	27	40	34
	サービス業	978	1,027	1,278	1,480	1,515	1,831
	公務	170	155	173	200	243	247
	分類不能の産業	0	3	3	2	14	6
総数		8,987	8,883	9,141	9,138	8,756	9,171

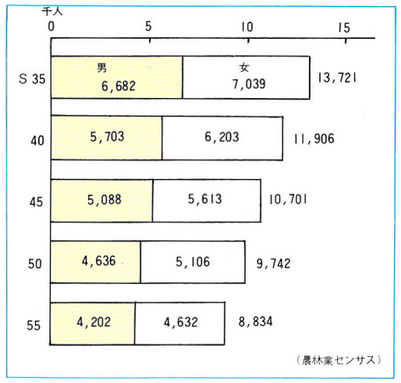
（国勢調査）

■産業別就業人口構成の推移



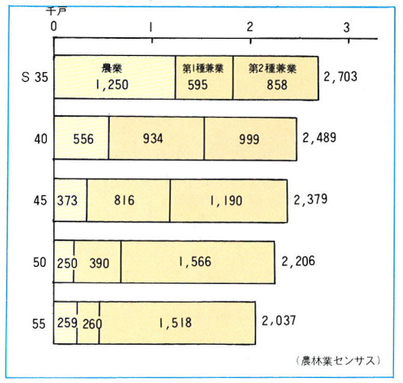
（国勢調査）

■農業人口の推移



（農林業センサス）

■農家数の推移



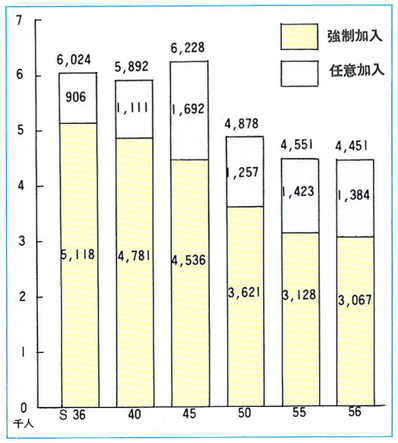
（農林業センサス）

■経営規模別農家戸数

区分	0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～0.7	0.7～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～2.5	2.5～3.0	3.0以上	例外規模
S 35	594戸	435戸	417戸	562戸	580戸	101戸	14戸	ー戸	ー戸	ー戸
40	441	429	400	519	564	115	18	ー	1	2
45	427	404	357	463	539	149	32	4	3	1
50	431	393	354	435	413	126	30	9	12	3
55	401	350	352	391	377	115	33	5	13	ー

（農林業センサス）

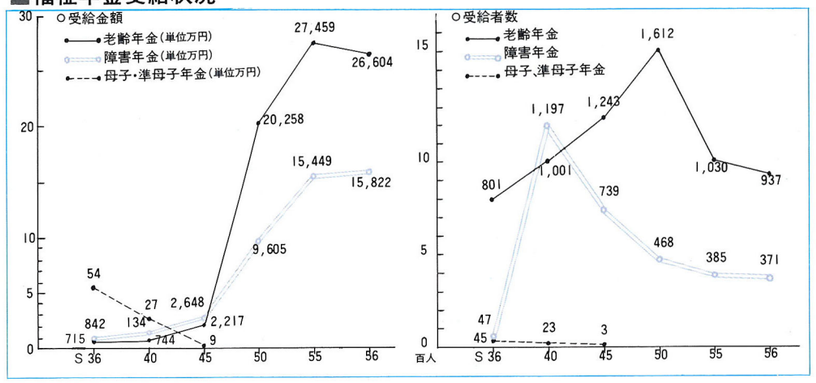
■国民年金加入状況



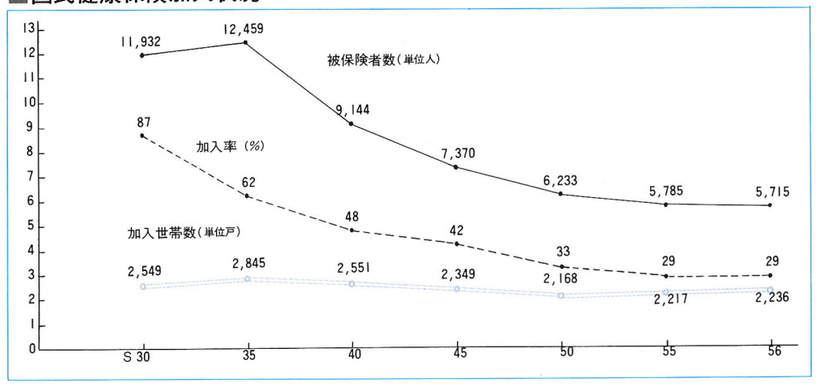
■拠出年金受給者数

区分	総数	内訳					
		老齢	障害	母子	遺児	準母子	寡婦
S 36	人 4	—人	1人	3人	—人	—人	—人
40	27	—	2	25	—	—	—
45	691	—	658	33	—	—	—
50	1,471	605	834	22	—	—	10
55	2,328	1,406	887	21	—	—	14
56	2,590	1,665	891	22	—	—	12

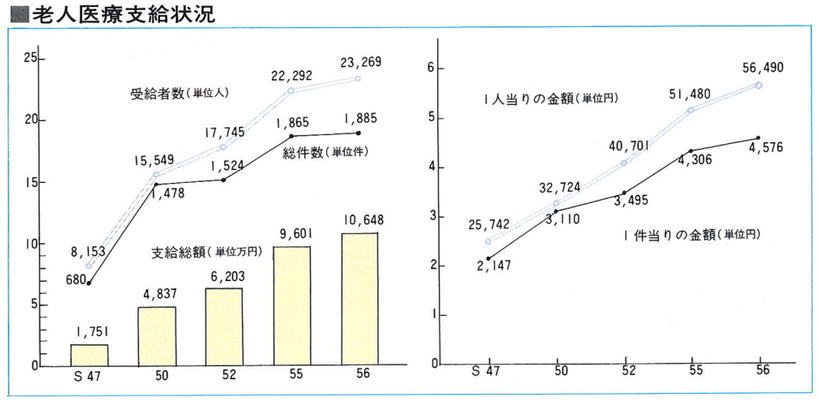
■福祉年金受給状況



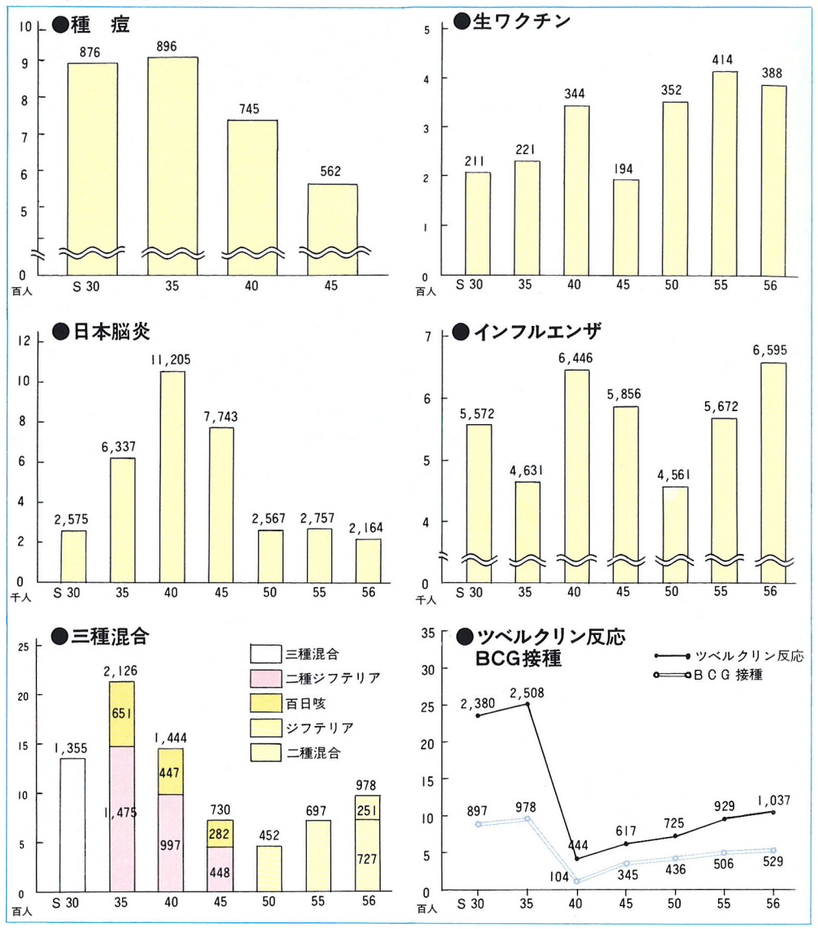
■国民健康保険加入状況



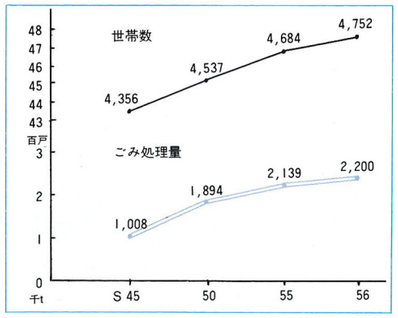
■老人医療支給状況



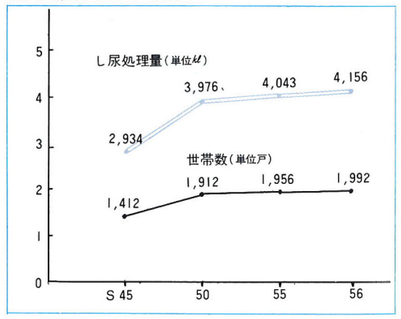
■予防接種実施状況



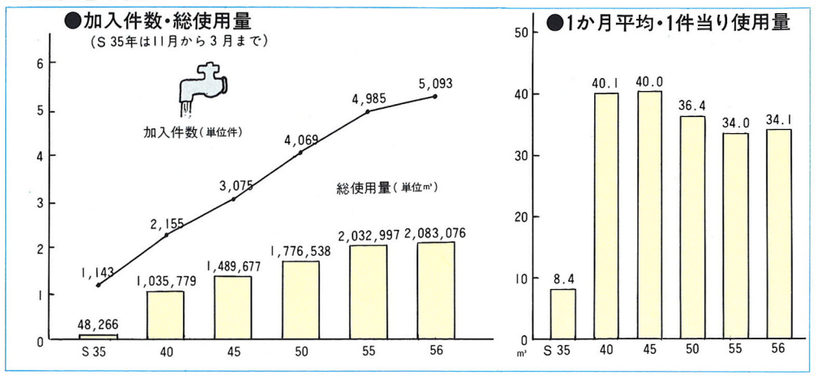
■ごみ処理の状況



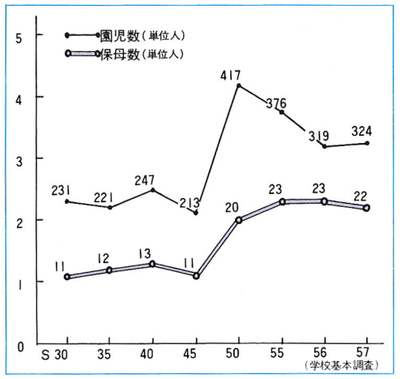
■し尿処理の状況



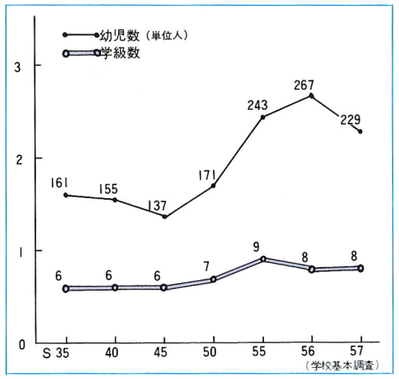
■上水道の状況



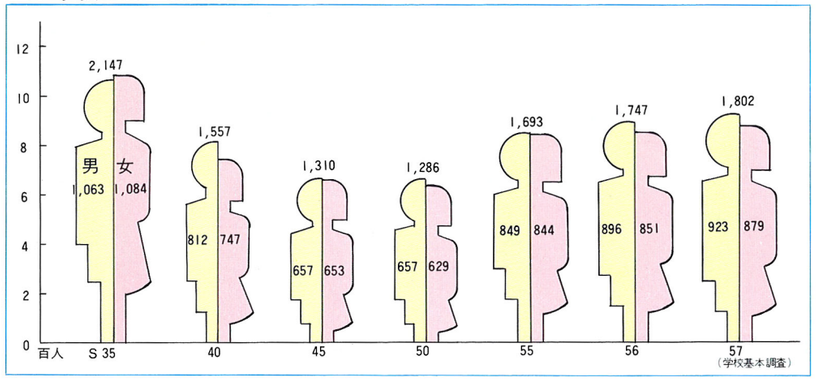
■保育園児の推移



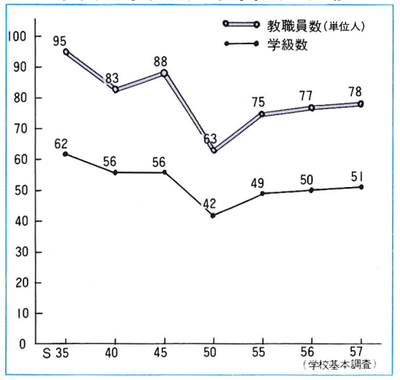
■幼稚園児の推移



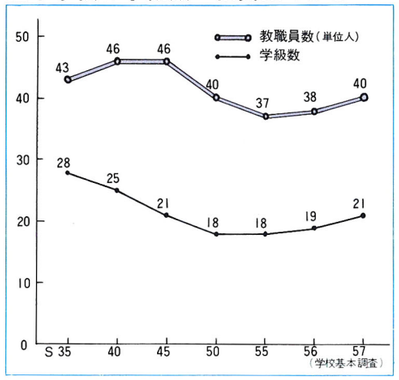
■小学校の児童数の推移



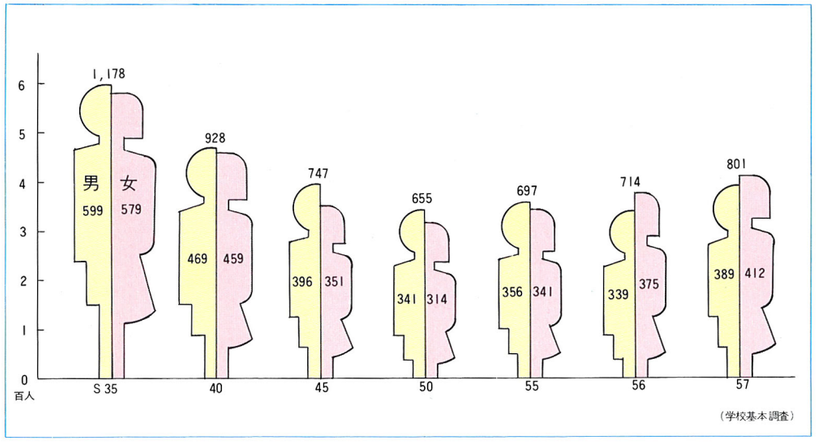
■小学校の学級数・教員数の推移



■中学校の学級数・教員数の推移



■中学校の生徒数の推移



■国指定重要文化財

種別	名称	所在・管理	指定年月日
彫刻	木造薬師如来座像	上寺山余慶寺	明治34年8月3日
彫刻	木造聖観音立像	上寺山余慶寺	大正6年8月13日
工芸	色々威甲冑	豊原北島神社	明治34年8月2日
建造物	余慶寺本堂	上寺山余慶寺	昭和54年5月21日

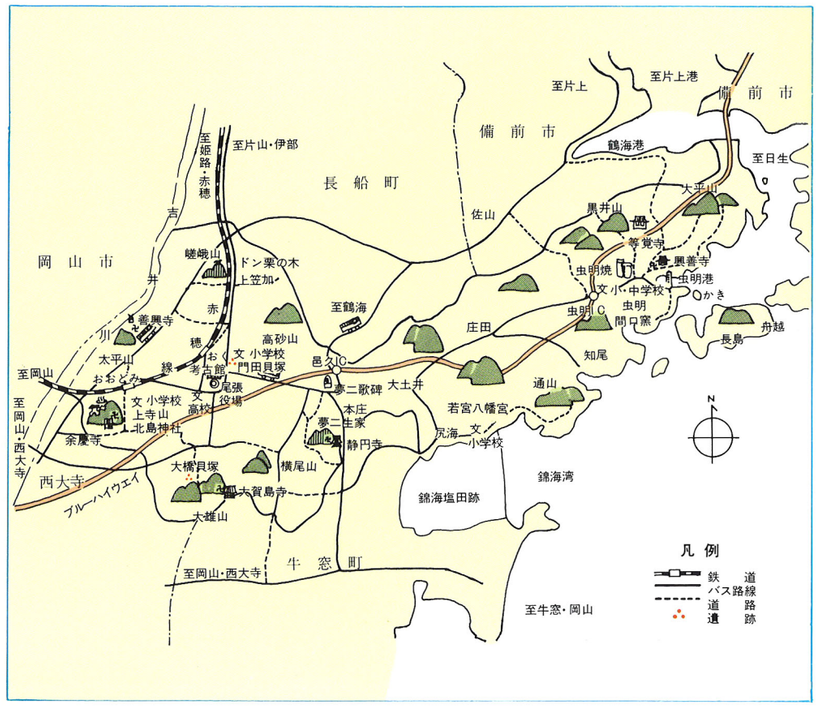
■県指定重要文化財

種別	名称	所在・管理	指定年月日
工芸	梵鐘	上寺山余慶寺	昭和31年4月1日
建造物	横尾山静円寺塔婆（多宝塔）	横尾山静円寺	昭和35年8月23日
絵画	若宮八幡宮欧風絵馬	若宮八幡宮	昭和35年4月26日
建造物	横尾山静円寺本堂	横尾山静円寺	昭和31年4月1日
工芸	永正銘備前焼花瓶	横尾山静円寺	昭和31年4月1日
工芸	永禄銘備前焼花瓶	横尾山静円寺	昭和31年4月1日
無形	面浄瑠璃	豊原・太田稔氏	昭和47年4月21日
彫刻	木造十一面観音立像	上寺山余慶寺	昭和54年3月27日
無形	虫明焼製作技術	虫明・黒井一楽氏	昭和55年4月8日

■町指定重要文化財

種別	名称	所在地	指定年月日
民俗資料	豊安だんじり	豊原大賀島寺	昭和53年4月1日
〃	円張だんじり	〃	〃
〃	舟原だんじり	下山田八幡神社	〃
〃	後坂だんじり	〃	〃
〃	北浦だんじり	〃	〃
〃	内沼だんじり	〃	〃
〃	西町だんじり	尻海西部落	〃
〃	市場町だんじり	尻海市場部落	〃
〃	東町だんじり	尻海東部落	〃
〃	仁生田だんじり	豊原大賀島寺	昭和54年4月1日

■文化財案内図



正　誤　表

	正	誤
歴史を語る文化財 「梵鐘」の本文6行目	駒の爪	駒の瓜
こころ豊かな人に育て 左ページの本文の下段8行目	体育協会	体育協力
まちのすがた…5　行政・議会 「歴代副議長」の7	S55．4．28	S55．5．28
まちのすがた…7　建設 「県道の現況」の備前牛窓線の改良延長	2,259.9m	2,259.9
まちのすがた…8　産業 「工業の推移」S45年の製品出荷額	315,552	31,552
まちのすがた…8　産業 「事業所数及び従業者数の推移」S44年個人業主	345	354
まちのすがた…12　文化財 「文化財案内図」	邑久ー文　小・中学校 裳掛ー文　小学校	邑久ー文　小学校 裳掛ー文　小・中学校

まちのすがた……13

絵でみる町のくらし

昭和57年3月31日現在

●発　行／岡山県邑久郡邑久町役場
●発行日／昭 和 57 年 9 月 1 日
●企画・編集／邑久町役場企画課
●製　作／大 日 本 印 刷 株 式 会 社